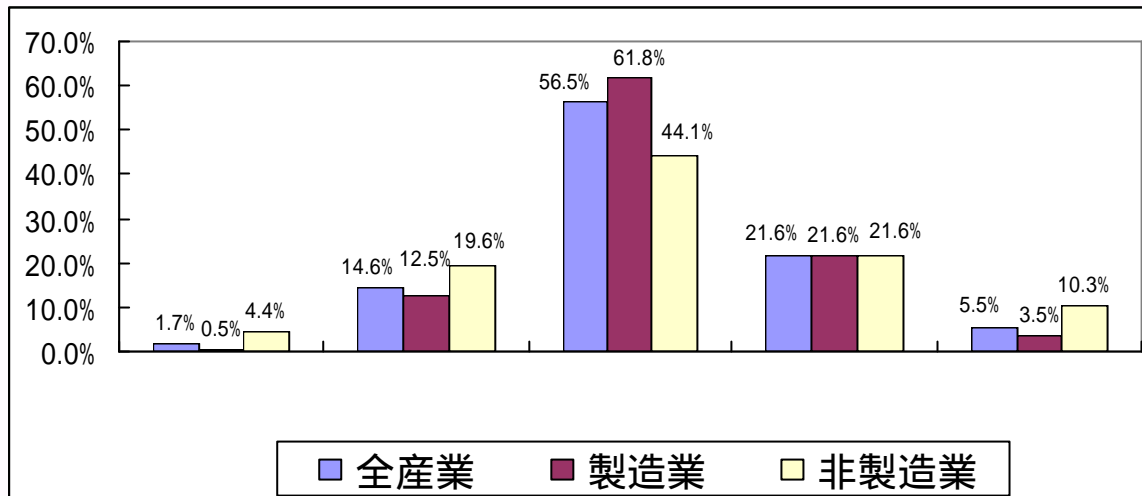


## 1 3 . 設備投資計画の見通しについて

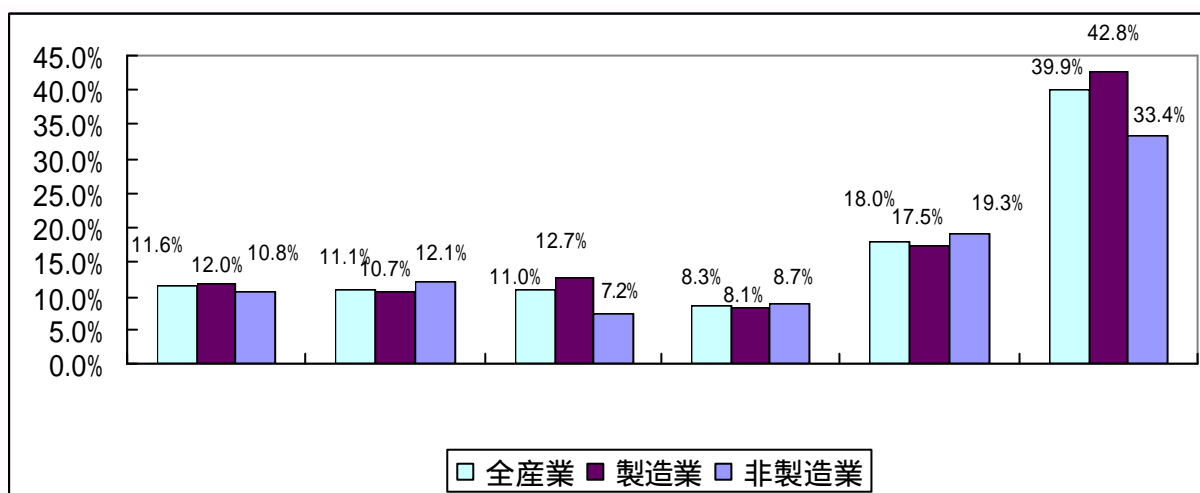
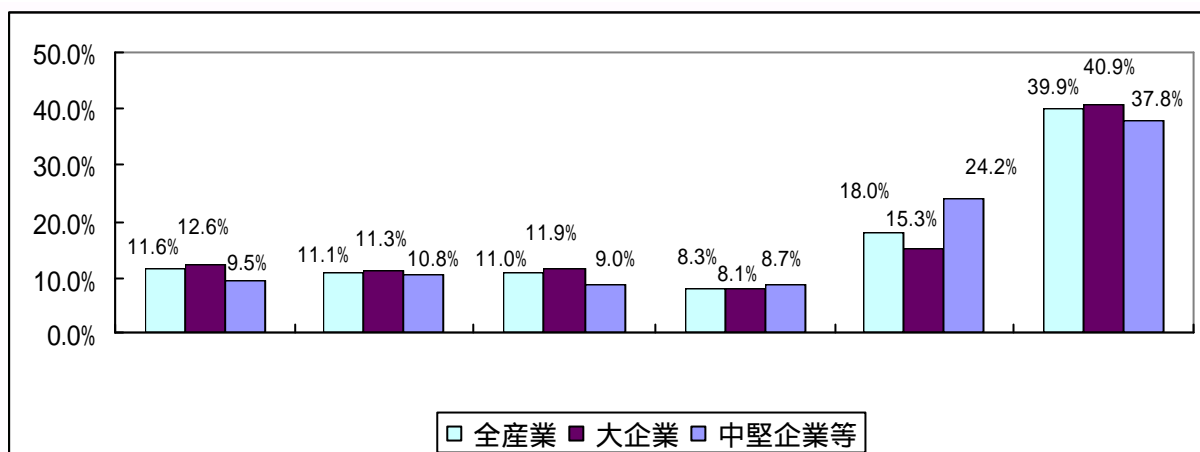
### (1) 今後の設備投資計画の見通し

#### a . 今後の設備投資についての考え方



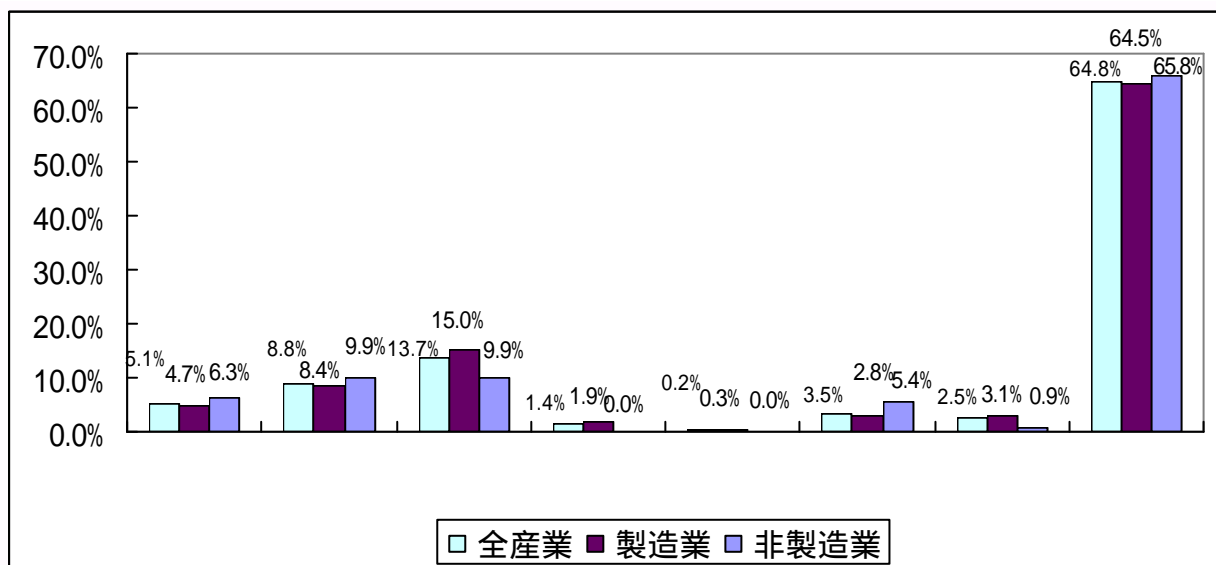
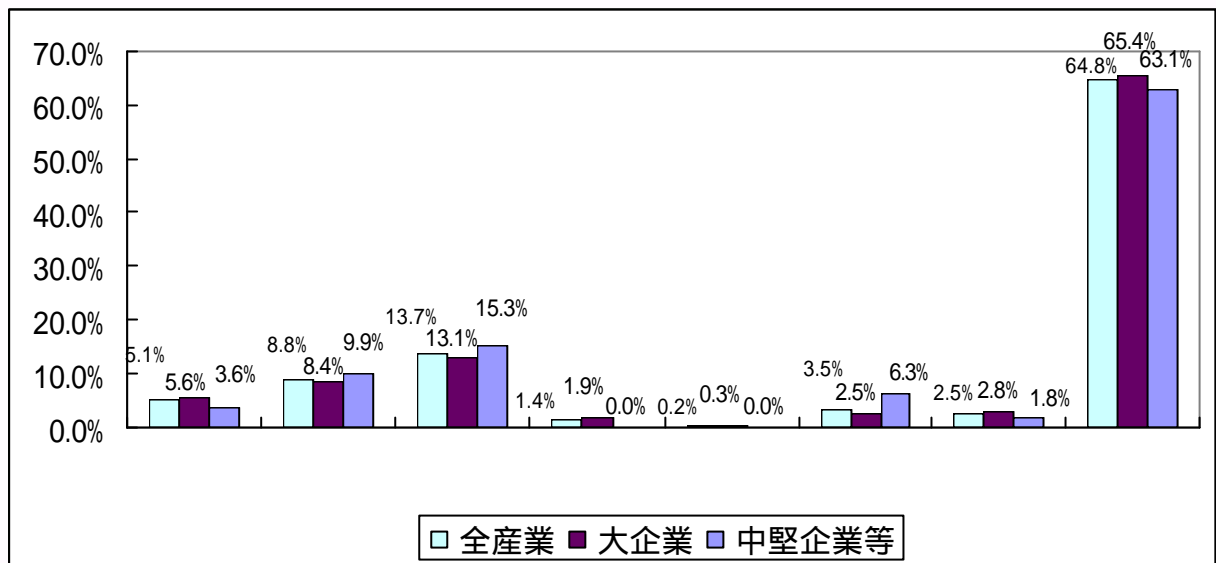
国内景気動向にかかわらず、投資拡大  
国内景気の回復状況にもよるが、基本的に投資拡大  
国内景気動向にもよるが、基本的に投資抑制  
国内景気動向にかかわらず、投資抑制  
その他

b . 平成 1 3 年以降、再び設備投資が対前年度比 3 % 以上増加する時期



平成 1 3 年度  
 平成 1 4 年度  
 平成 1 5 年度  
 平成 1 6 年度以降  
 増加の予定なし  
 わからない

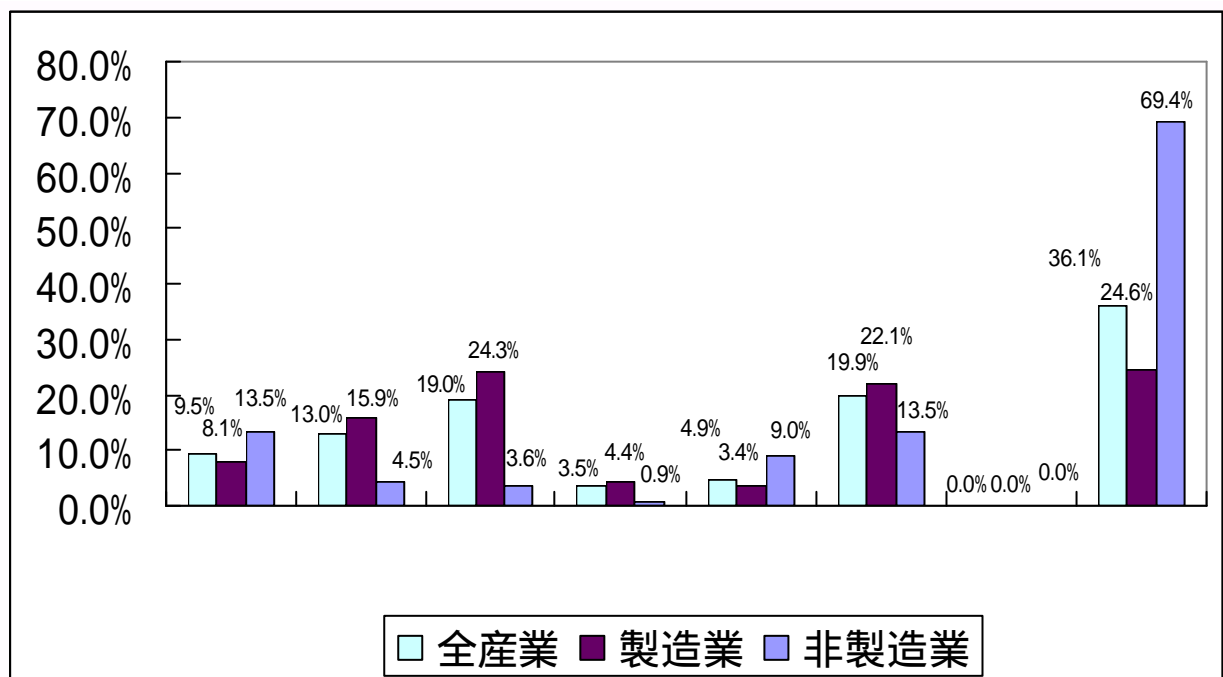
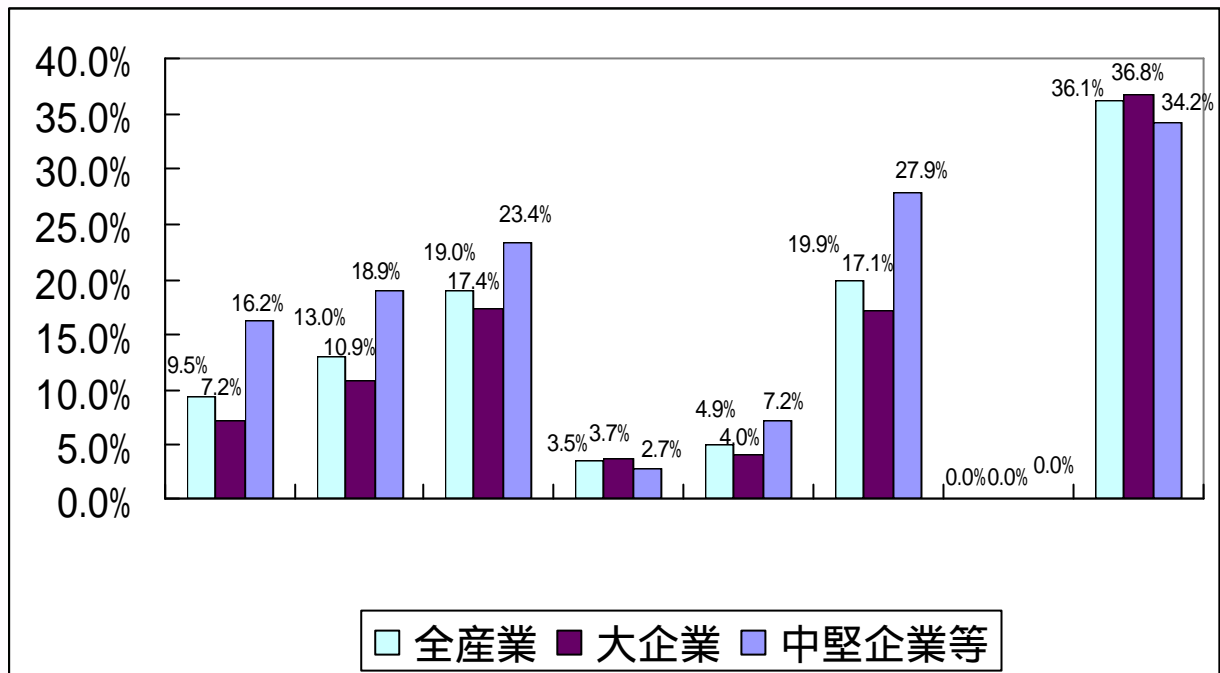
c . (平成13年度の設備投資が前年度比3%以上増加する予定の企業のみ)  
平成13年度の設備投資が増加する最も大きな要因



個人向けの需要・販売が増加  
企業向け(設備投資のための資材)の需要・販売が増加  
企業向け(生産するための原材料等)の需要・販売が増加  
輸出の増加  
公共事業が増加

収益・キャッシュフローが増加  
法規制の強化、変更  
(環境規制強化、出店規制の変更等)  
その他

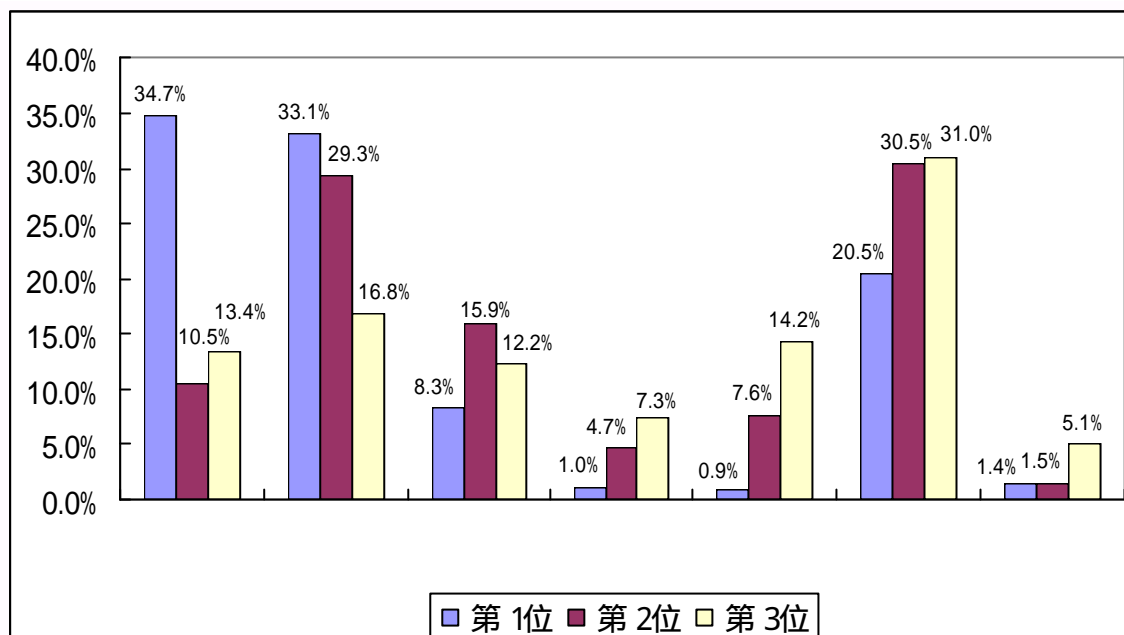
d . (平成13年度の設備投資が前年度比3%以上減少する予定の企業のみ)  
平成13年度の設備投資が減少する最も大きな要因



個人向けの需要・販売が減少  
企業向け(設備投資のための資材)の需要・販売が減少  
企業向け(生産するための原材料等)の需要・販売が減少  
輸出の減少  
公共事業が減少

収益・キャッシュフローが減少  
設備投資の工事単価、資材価格の減少  
その他

(2) 今後、設備投資を増額する場合の重点項目



生産能力増強  
 更新、維持・補修  
 研究開発投資  
 省エネルギー投資・新エネルギー投資  
 環境保全投資  
 合理化・省力化投資  
 その他